

MEPC71 齋藤議長就任挨拶

事務局長、ありがとうございます。とても感動しています。

初めに、私を MEPC 議長に推薦して下さった皆様、特に、ノミネートして下さったパナマ、セコンドの中国、支持してくれたデンマーク、マーシャル諸島、南アフリカ、ギリシャ等、世界中からのサポートに感謝を申し上げます。

皆様ご存じのとおり、私は 10 年間 MEPC に携わりました。その間、法的文書の作成、交渉や会議の進め方など多くのことを学びました。

MEPC で最初に取り組んだのはシップリサイクル条約で、その時、私は日本の首席交渉官でした。その後、バラスト水管理、EEDI や燃費消費実績報告制度を含む温室効果ガス排出削減にも取り組み、IMO・GHG 削減戦略についてはワーキンググループの議長を務めました。これらは私にとって大変良い経験でした。委員会における議論や交渉は時には厳しくもありましたが、IMO が持つ協調性で解決されております。今後も MEPC ではその心を持ち続けてほしいと思います。

私のことを若く見えると言う方もいらっしゃいますが、私も年を取り、これまでの経験を IMO に還元する良い時期だと思います。今後の MEPC での議論や交渉を主導するために貢献することを約束します。

事務局長、代表団の皆さん、MEPC は難しくも環境保護のためには極めて重要な課題を多く抱えています。この委員会の重要性を高め、環境への悪影響を軽減するための効果的、具体的かつ実現可能な対策を提供していく必要があります。このことを心に留め、私はこの委員会を主導するために全力を尽くします。

最後に、IMO での親友であるアルセーニョ（前 MEPC 議長）に多大なる感謝の意を表明します。あなたは多くのことを成し遂げ、委員会を主導してくれました。海洋環境保護と海事産業のための取組は、時には夜遅くまでのあなたの尽力がなければ達成できなかったでしょう。またこの委員会でお会いできると嬉しいです。

事務局長、代表団の皆さん、私の議長選出を支持して下さり誠にありがとうございます。IMO と MEPC のために協力していきましょう。